

既設橋梁の振動・騒音簡易抑制

弾性舗装材ファルコン工法

鋼製・ゴム製伸縮装置



既設橋梁のジョイント部における、車両通過時に発生する「振動・騒音」は、その沿線住民に対し、深刻な環境問題として、各地で表面化してきています。

「振動・騒音」の発生メカニズムは単純なもので、ジョイント部を構成している各部材の磨耗度の違いから起こる段差が発生源であります。

したがって、その発生箇所を少なくすることで、環境の改善が見込めると考えます。

後打Con部補修(弾性舗装材料使用)

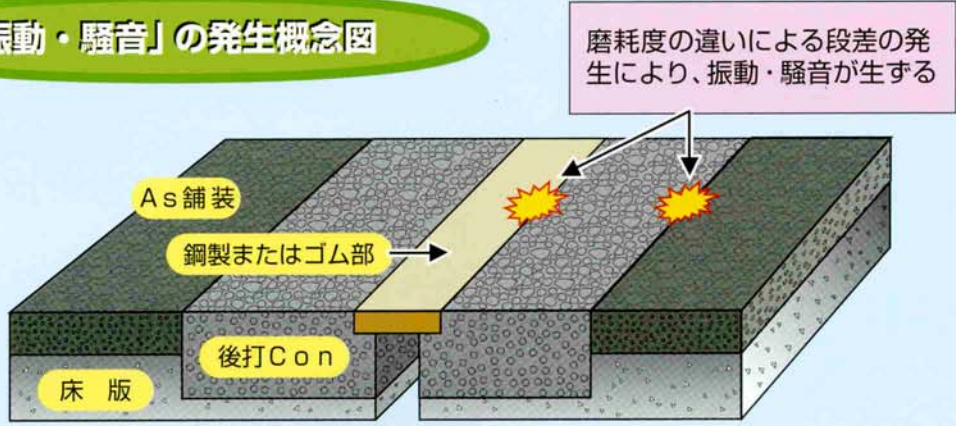


後打Conの表層を撤去



As舗装の磨耗度と同数値の物性を持つ弾性舗装材ファルコンを後打Con部へ舗設。段差発生箇所の減少により、「振動騒音」発生抑制。

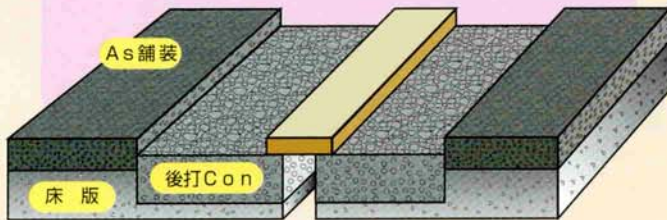
「振動・騒音」の発生概念図



アスファルト舗装、コンクリート、ゴム・鋼で構成されている荷重支持型ジョイントは、それぞれ部材の磨耗度が異なる為に、供用期間が進むにつれ各境界にて段差が発生します。その段差が、車両通過時に「振動・騒音」を発生させることとなります。

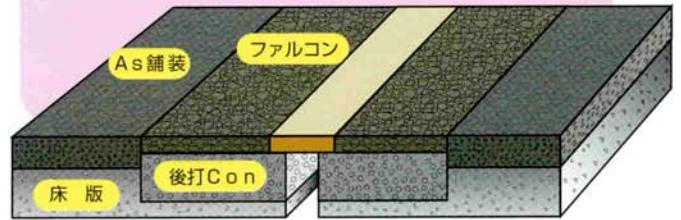
「振動・騒音簡易抑制」施工概念図

① 後打Conを撤去し箱抜を形成。



後打コンクリートの表層30~50mmを撤去し、箱抜を形成します。はつりガラ等を取り除き、プライマー材を全体にムラなく塗布します。その際、舗装面及び伸縮ゴム・鋼製部をガムテープ等で養生して下さい。

② 箱抜部に弾性舗装材ファルコンを舗設。



プライマー材の揮発後、熔融した弾性舗装材ファルコンを舗設します。舗装ゴテ等で、前後とのレベルを取りながら表面を均して完了です。硬化養生後、交通開放。交通開放を急ぐ場合は散水による硬化養生も可能です。

■代理店

HRK ヒートロック工業株式会社

http://www.heatrock.co.jp
E-mail:kaihatsu@heatrock.co.jp
国交大臣許可(般-12)第9308号
日本道路ジョイント協会会員
日本構造物診断技術協会会員

本社	〒950-0965	新潟市新光町16-4	荏原新潟ビル
TEL	025-283-1500		FAX 025-283-6501
製品開発部	〒950-0965	新潟市新光町16-4	荏原新潟ビル
TEL	025-282-1730		FAX 025-283-6501
東京営業所	〒104-0032	東京都中央区八丁堀3-1-1	京橋第3長岡ビル
TEL	03-3523-0620		FAX 03-3523-0621
北関東事務所	〒302-0104	茨城県守谷市久保ヶ丘3-8-17	
TEL	0297-47-9107		FAX 0297-47-9108
大阪営業所	〒532-0003	大阪市淀川区宮原5-1-3	新大阪生島ビル
TEL	06-6350-8880		FAX 06-6350-8877
仙台営業所	〒983-0043	仙台市宮城野区森野町1-11-1	森野町Mビル
TEL	022-284-3353		FAX 022-284-3358
新潟営業所	〒950-0965	新潟市新光町16-4	荏原新潟ビル
TEL	025-283-1500		FAX 025-283-6501
金沢営業所	〒920-0867	金沢市長土堀2-5-27	メリティアコート802
TEL	076-231-7687		FAX 076-231-7688
工場研究所	〒956-0015	新潟市川口字乙580-15	
TEL	0250-21-6030		FAX 0250-21-6033



● 材料仕様は改善、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

04-0902-SJ 再生紙を使用しております。